



今月のトピックス



『奥山景布子先生“里帰り”講演会』

日時：9月23日（日・祝）午後2時より / 場所：図書館2階大集会室

津島市出身の歴史作家・奥山景布子さんの「“里帰り”講演会」を開催します。代表作『葵の残葉』をはじめとする作品のエピソードや、作家となったきっかけ、そして、“ふるさと・津島”の思い出を、縦横無尽に語って頂く予定です。今年、新田次郎文学賞を受賞した話題の人気作家の生の声、お聞き逃しなく！

※入場には入場整理券が必要です。

9月9日（日）9時より、メインカウンターにて配布します。おひとりさま2枚まで

展示『津島祭礼凶屏風』

9月上旬～中旬 / 場所：図書館入口展示コーナー

特定非営利活動法人京都文化協会とキヤノン株式会社の共同事業「綴プロジェクト」の第11期作品として制作され、津島市と愛西市に寄贈された、大英博物館が所蔵する「津島祭礼凶屏風」の高精細複製品の展示を行います。天王川で行われる船祭りの情景を丹念に描いた屏風絵を、ぜひご覧ください。



閉館時間のご案内

9月からは**18時閉館**に戻りますので、お気をつけください。たくさんのご利用ありがとうございました。

9月12日は「宇宙の日」

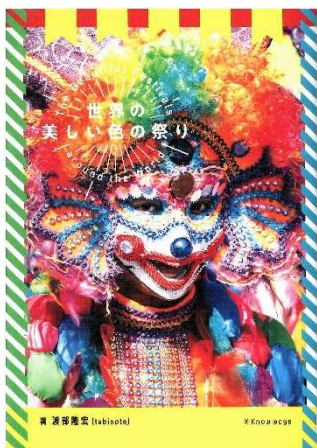
宇宙の日は1992（平成14）年に科学技術庁（現在の文部科学省）と文部省宇宙科学研究所が制定しました。1992年は国際宇宙年（ISY）で、この年のこの日、毛利衛さんがアメリカのスペースシャトル・エンデバーで宇宙へ飛び立ちました。9月10日には、流星群も観測できるそうです。夜空を眺めて宇宙に思いを馳せてみてはいかがでしょうか？

- 『世界で一番美しい深宇宙図鑑』 ホヴァート・スヒリング/著 創元社 440シ
- 『太陽系旅行ガイド』 マーク・トンプソン/著 地人書館 538.9ト
- 『誰かに教えてくなる宇宙のひみつ』 竹内薫/著 徳間書店 440タ
- 『今夜も宇宙の片隅で』 笹生陽子/著 講談社 913.6サ



新 着 図 書

『世界の美しい色の祭り』 渡部隆宏／著 エクスナレッジ 386ワ



世界には数えきれないほど多くのお祭りがあります。数百万人が集う大イベントから秘境に住む部族の葬儀まで、発祥がわからないほど古いものから新しいものまで、その規模や由来は様々です。

本書では、数ある世界のお祭りの中から「色」をテーマに日本を含む世界38国68カ所のお祭りを紹介。色彩豊かな写真と併せて、お祭りを発祥や意味合いから5つのカテゴリに分けたアイコンと、開催時期や開催地、関連宗教などの概要が見開きで掲載されています。

春節の赤色、ミモザの黄色、白い少女たちによる幻想的な聖ルシア祭、極彩色に彩られたマスカラフェスティバル……色鮮やかな世界のお祭りを、美しい写真とともに楽しみください。

ベストリーダー

先月の利用の多かった本をご紹介します

『がいなもん』河治和香／著 ←蝦夷地を六度に亘って踏破した“北海道の名付け親”松浦武四郎の生涯。

『NDCへの招待』蟹瀬智弘／著 ←NDC（日本十進分類法）を使用して図書を分類する技術を解説。

『騎虎の将太田道灌』幡大介／著 ←扇谷上杉家の家宰、太田家の跡取り資長は、突出した才覚を現していく。

『人生の醍醐味』曾野綾子／著 ←世相を映しながら年をとり、夫を見送るところまでを綴ったエッセイ。

『世界図書館遺産』←世界12ヶ国23の由緒ある図書館の成り立ちや歴史を、美しい写真と共に収録。

『患者よ、お前がいなくなって淋しくてたまらない』伊集院静／著 ←友たちとの絆を描いた自伝小説。

『終活夫婦』中尾彬、池波志乃／著 ←芸能界一の「おしどり夫婦」が「終活」について語り合う一冊です。

『石田純子大人の幸せおしゃれ図鑑』←ふっくらしたからもうオシャレは無理？大人の着こなし術を紹介。

『まったなし』畠中恵／著 ←祭のための寄進が今年に限って集まらない！「まんまこと」シリーズ第5弾。

『あの人とあの本の話』瀧井朝世／著 ←64人の小説家が著作について本気で語ったインタビューを収録。

図書館のホームページをご利用ください

本の検索や、行事などの予定、図書館員のコラム（「図書館だより」）など、ほぼ毎日更新しています。スマートフォン向け検索画面もでき、より便利になりました！ キーワードは「津島市立図書館」。

<http://www.lib.tsushima.aichi.jp/>

休館日

25日（火）（毎月第4火曜日）

津島市立図書館

〒496-0854 津島市老松町1-1

電話 (0567) 25-2145

